

コーナー	壁 材	選択ポイント	床 材	選択ポイント
セット面	クロス、左官・吹きつけ、タイル、木質系	お客さまが一番長く滞在される空間なので、集中してコストをかけるのも効果あり。好みを反映させつつ、落ち着ける色や素材に。	コンクリート、タイル、石、フローリング、塩ビシート	手入れのしやすさ、歩行性で選ぶか、全体の雰囲気重視で自然素材を選ぶか、一番重要な分かれ道。
シャンプー	クロス、石、磁器タイル、タイル	水ハネのメンテナンス性を考え、腰高までの高さは、耐水性のある床材と統一するのがおすすめ。内装材のテーマをセット面と変化を持たせると、移動による気分転換効果も狙える。	タイル、石、Pタイル	耐水性、清掃性がよくて、歩行性がよいものに。セット面と素材を変えると、リラクゼーションスペースとしての視覚効果も狙える。
待合	クロス、左官・吹きつけ、タイル、木質系	エントランスや受付を兼ねるので客迎えるため豪華に見せたいところですが、お客様が滞在する場所ではないので、予算に限度がある場合は、コストをかけすぎないように。	コンクリート、タイル、石、フローリング、塩ビシート	セット面と同じ素材にすると、広がり感が出る。
カラーラボ	クロス、石、磁器タイル、左官・吹きつけ	多くはシャンプーコーナーと統一される場合が多いですが、演出効果や、作業効率を高めるため、カラーラボを独立して設ける場合は、耐水性・メンテナンス性を重視。	タイル、石、Pタイル	耐水性、耐薬品性があり、清掃性のあるものをおすすめ。
トイレ	クロス、石、磁器タイル	水ハネしやすい洗面台や便器まわりは、耐水性や、拭き掃除がしやすい素材がおすすめ。	タイル、石、Pタイル	耐水性、耐薬品性、清掃性のあるものをおすすめ。女性は必ず一度はトイレに入るので、落ち着き感の演出がトイレにもあると気づき感が効いている印象を与える。